



いそご  
多文化共生ラウンジ  
ISOGO International Lounge



## 令和5年2月6日(月) 「いそご多文化共生ラウンジ」に取り組みます 多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる拠子をめざします

夢コミネットは磯子区でまちづくりの団体として、“地域での仲間づくり”をキーワードに、自分らしく輝けるコミュニティをめざして地域子育て支援、障がい理解、子どもの貧困、高齢者の孤立、社会教育推進など、地域からの声や抱える課題を事業にして取り組んできました。そういったこれまでの経験を生かして、いそご多文化共生ラウンジを運営していきます。

ラウンジでは国籍や文化の違いを超え、互いに認め合い、誰もが活躍できるまちづくりを推進します。みんなで一緒に盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 施設概要

磯子区役所隣 浜田ビル3階（1階はヤオコー横浜磯子店）

- ・相談カウンター 外国人の方の相談を受け付けます
- ・情報提供コーナー 暮らしや生活に関わる情報の他言語対応をします
- ・多目的スペース 広さ85㎡ 利用人数目安約20人  
多文化共生に関わる事業をする市民が登録制で利用できるスペースです  
登録制、無料貸し出し 各種イベント（交流会、講座、発表会、ワークショップなど）
- ・フリースペース 本や絵本設置、気軽にご利用いただけます



2月6日～3月31日まで  
パネル展を実施します

JR磯子駅より徒歩5分。  
ぜひお越しください。

〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-4-23  
浜田ビル3階(1階はヤオコー横浜磯子店)

新規運営にあたりホームページを作成しました  
<https://isogo-lounge.com> ※準備中

### 運営チーム体制

#### 相談窓口 チーム

- 文化の違いに戸惑う外国人にとってラウンジが最初の「居場所」となるように
- 外国人からの相談対応
  - 行政や暮らしの情報収集と多言語での提供
  - 情報発信

#### 日本語教室 チーム

- 外国人と関わりのある人たちが地域への橋渡しになるためにつながる
- 区内日本語教室との連携
  - 新たなボランティアの育成
  - 日本語教室の企画・イベント等のサポート

#### 子ども学習 支援チーム

- 未来を担う子どもたちの自己肯定感を育み、地域で活躍できるようサポート体制をつくる
- 自己肯定感をもてる学びの場づくりの促進
  - 学校や各機関との連携
  - 課題調査(高校受験対策)

#### 地域連携 チーム

- 日本人と外国人の交流を充実し、お互いの理解を深め、地域で助け合う関係を育む
- 自治会との連携
  - 商店街との連携
  - 地域施設との連携

## 報告

### 「多文化共生と地域の明日」～子どもたちの多様性をいかす～

多文化共生について学び、コミュニティの活性化に重要な視点をみんなで一緒に考えていく機会として、9～10月に開催しました。

全3回の講座では、外国につながる子どもたちの現場に関わる方からお話を伺い、参加者で思いを語り合うことで、これからそれぞれができること、地域に必要なことを考える時間となりました。



#### 第1回

「多文化共生を考える」

国際交流ラウンジでの高校生の活動、  
自治会町内会との連携事例

講師:木村 博之さん

(公財 横浜市国際交流協会 事務局次長)

#### 第2回

「外国にルーツをもつ子どもたちの現状」

学校等でサポートしている方から現場の様子

・原田 静さん(横浜市通訳ボランティア)

・周 晶さん(トライアングル インターナショナル キッズ)

・王 広子さん

(多文化共生スポット ワールドキッズ 学習支援)

#### 第3回

「共に学び、ともにつくる社会へ」

外国にルーツをもつ

子どもたちの課題

講師:白濱 小恵子さん

(日本語支援拠点施設「ひまわり」、

日本語支援アドバイザー)

#### 参加者の声

- ・毎回驚くことの連続だなと思いました。地域の人や学校の人は、今回のような話を聞けば、意識づけられそう。無理にというわけではなく、少しでもサポートしたいという人が増えればいい。またそのきっかけづくりが大切だなと思いました。
- ・外国にルーツを持つ子どもたちの切実な思いをととてもよく知ることができた。また、どう接したら良いか。自分にもできることがある!!と思えた。
- ・外国籍の方に接する時、つい言語に対する自信がないことでびくびくしてしまうことがあるのですが、そこは積極的に使えるサポートを提起していこうと思いました。手を貸してくれる人がいるって知って貰えたらうれしいです。
- ・子どもたちの“見えないところでの困難”を自分に置き換えて考えることができました。何事にもその子なりの“理由”があるということを常に思っていたいです。
- ・お話を聞いているうちに「うんうん」「そうだよ」と自分とかさなり、聞かせていただきます。本当に外国につながる子と保護者のことをよく理解してくれて、深いところから、支援してもらい感謝しています。もっともっとお話を聞きたいと思います。
- ・文化間を移動する子どもたちや保護者が直面する壁がよくわかりました。「日本語」以外の支援の重要性がわかりました。現場のお話がとても興味深かったです。
- ・子どもたちが一生懸命、自分を守りながら生きていっていること、日本で生きていくことが決して簡単ではないこと。・・・色々伝わって胸が熱くなった。
- ・情熱的な講演に大拍手。白濱先生のような方がいらっしゃるから、日本の未来が明るく見えます。
- ・地域のサポートが必要。また、助けになりたい人ってたくさんいる。その人たちのきっかけづくりがしてみたい。
- ・教師として担任をした時に、自分1人だけでなく、みんなで協力して住みやすい地域、居心地の良いクラス作りをしなければいけないと思った。そのためにも、子ども、保護者に寄り添っていきたい。



## 横浜市社会教育コーナー

4月より横浜市社会教育コーナーの管理運営者として関わる夢コミネットの役割は、市民の生涯学習・社会教育の推進のため、自主事業の企画・実施や情報提供、相談対応、場の提供です。また、生涯学習・社会教育関係職員の人材育成のための研修・実施、相談対応も行っています。



### 職員研修への参画

#### 【出前研修の実施】

青葉区、中区、神奈川区に出向きました。市民の学びを支援する市民活動・生涯学習支援センター職員を中心に、ファシリテーションやチーム力を生かすをテーマに学習を展開しました。

#### 【生涯学習研修の実施】

地域における人材の発掘と育成をめざし、いかに市民の活動を継続するかを考え、市民の活動への一歩を後押しするための工夫等をワークショップで話し合いました。

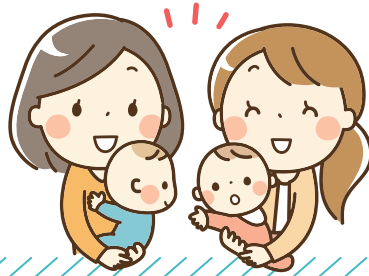


今後も、これまでの夢コミネットが取り組んできた地域の担い手育成の実践や講座運営のノウハウを生かし、学習支援者としても研鑽していきたい。



## 親と子のつどいの広場 夢ひろば・夢たま

コロナ禍により、プログラムの種類や人数の制限は未だに続いていますが、子育て中の親子の居場所として元気にOPENしています。



### ● 夢ひろば 地域施設との連携

<つながる杉田>をテーマに杉田地区の施設や学校等がつながり、「花火」をテーマに作品をつくりました。夢ひろばも親子みんなでぬり絵を楽しみ、大きな花火をつくりました。作品は杉田劇場ギャラリーに飾られ、つながりの輪を広げました。



### ● 夢ひろば 利用者ママが講師に！

ロゼットづくり(講師:ハンドメイド作家 to4cかおり)

ハンドメイド作家として活躍されている利用者さんが講師となり、「クリスマス色のロゼット作り」を楽しみました。バッグにつけても、オーナメントとしても使え、マタニティマークも選べました。

参加者からは、仕事とハンドメイドの両立についてや時間の使い方など質問もあり、会話も弾みました。

講師からも、「私も夢ひろばの先輩ママたちにたくさん助けていただいたので、少しお返しできたようでうれしかった。夢ひろば行くとほっとします！」の声をいただきました。



### ● 夢たま 地域子育て支援の連携

磯子区内の子育て支援団体が連携して「公園であそぼう！」を実施しています。

10月17日は「夢たま」近くの滝頭二丁目公園でした。

日頃の利用者も参加して元気に走り回り、笑顔いっぱいでした。

はじめてのお友だちともふれあい、

今後の公園あそびのきっかけにもなりました。



## コミュニティステーション 夢まる

### 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(サービスB)

#### 【終活講座】もしものための話し合い

介護予防プログラムでは、第1週から第4週まで地元のボランティア講師や磯子スポーツセンターにご協力いただき、午前中は健康体操、午後は囲碁・将棋・健康マージャンのプログラムを定期的に行っています。

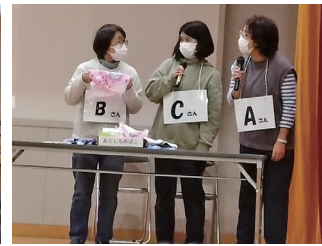
第5週はスペシャルプログラムとして、特殊詐欺被害防止の寸劇、リトミックやボッチャ体験などを実施してきました。今回は、終活講座「もしものための話し合い」を企画し、多くの方にご参加いただきました。磯子区在宅医療連携拠点「相談室かけはし」の職員を講師に終活講座を行い、在宅療養の現実と最後まで自宅で過ごすための心得をうかがいました。後半は「もしバナゲーム」を通じて、人生における“価値観”や自分自身の“あり方”について、気づきを得るよい機会となりました。



# Diversity & Inclusion 感覚のちがいを知ろう

小学校に出前講座に行きました！

2022年12月の人権週間に「感覚の違いを知ろう」をテーマに2つの小学校に出向き、出前授業を行いました(洋光台第一小学校、八景小学校)。目には見えない感覚の違いを体験や寸劇で伝えました。



## 開催案内

### 人権・福祉教育「今、子どもたちが学校で習っていること」フォーラム 開催

#### 学校で子どもたちが習っている内容を知り、地域や家族で人権を考える機会

長引くコロナ禍、子どもたちの関わりの中でのコミュニケーション・意思の疎通が難しくなっています。

障がいのある人もない人も、支える人と支えられる人に分かれることなく、だれもが共に支え認め合う必要があります。そのために、子どもの頃から相互に人格と個性を尊重し、支え合うこと、そしてその機会を得る・体験することが大切です。

このフォーラムでは「出前講座」の内容を中心に、子どもたちが学校で習っていることを見ていただき、さらに子どもたちのふりかえりや声を基に、互いに認め合い、多様性を尊重する社会の実現を考えていきます。

#### 内容

- ・学校で実施している出前講座の実施
- ・子どもたちの困りごとについて(身近な例をもとに)
- ・多様で複雑化する社会の中で、大人は何ができるかを話し合う

対象者 保護者、学校・地域コーディネーター、子どもと関わる活動者、教育関係者など

日時 2023年1月29日(日) 10:00～12:00

会場 横浜市社会教育コーナー

申込み [info@yumecom.net](mailto:info@yumecom.net)

主催 NPO法人夢コミネット

協力 磯子区社会福祉協議会



## 会員募集！ 誰もが夢をかなえられる社会を目指して

夢コミネットは、会員の皆さんに支えられて運営しています  
ぜひ会員として「地域での仲間づくり」活動を応援してください

- ◆ 正会員 年会費 6,000円  
会の目的に賛同し、運営に積極的に参加する個人  
議決権有、会報誌・メールマガジンの送付、主催講座の割引
- ◆ 準会員 年会費 2,000円  
会の目的に賛同し、会の提供するサービスや講座等に参加する個人  
会報誌・メールマガジンの送付
- ◆ 賛助会員 年会費 5,000円(1口以上)  
会の目的に賛同し、運営を財政的にサポートする個人または団体会報誌の送付

#### 〈入会方法〉

ご入会は会費を下記にお振込みくださいますようお願いいたします。

- 郵便振替 00290-6-94824 夢コミネット
- 銀行振込 横浜銀行 磯子支店 普通 1323239 夢コミネット
- ★ ふるさと納税「よこはま夢ファンド」で夢コミネットに寄付が可能です。

## 編集後記

新規事業が決まり、クリスマス・年越しも、にぎやかに、慌ただしく過ごしています。新たな活動に向かうと新しい出会いがあり、とても新鮮です。

「迷ったら、Go!」、日頃から夢コミネットが発しているメッセージを自分たちにもあてはめ、進んでいきます。2023年もどうぞよろしくお願い致します。

夢コミ通信 ぱぴ vol.41

発行：2023年1月1日

NPO法人 夢・コミュニティ・ネットワーク  
〒235-0036

横浜市磯子区中原4-26-27-204

TEL&FAX : 045-342-7879

Email : [info@yumecom.net](mailto:info@yumecom.net)

URL : <https://yumecom.net/>

